

競技及び審判上の注意

- 1 競技は「第32回バドミントンクリスマスペア大会要項」及び公益財団法人日本バドミントン協会競技規則並びに大会運営規程により実施、運営します。
- 2 日本バドミントン協会「感染症対策に伴うガイドライン」に沿って対策を行います。
- 3 シャトルは日本バドミントン協会第1種検定合格水鳥球「YONEX NEW OFFICIAL」を使用します。
- 4 予選は、すべて21点1ゲームマッチ延長無し。
- 5 決勝上位トーナメントは、21点1ゲームマッチ延長無し、決勝下位トーナメントは、15点1ゲームマッチ延長無しとします。
- 6 各コートにコーチ席を設けます。
- 7 試合順は流し込み方式を基本としますが、タイムテーブルどおりにいかない場合があるので、コールには十分注意してコールがあったら速やかにコートに入ってください。
- 8 初戦に限り2分間の練習を認めます。ペアとの練習を行ってください。(練習球は各自で持参してください)
- 9 試合が連続する場合は、10分間の休憩を取ります。
- 10 審判について
 - (1) 最初の試合は、タイムテーブルに記載してあるとおり本部進行より主審、線審を指示致します。
 - (2) 2試合目以降の審判は、敗者のチームより主審と線審を勝者のチームは線審を行ってください。
- 11 表彰は、各種目とも3位までとし3位決定戦は行いません。
- 12 その他
 - (1) 声をあげてのプレー及び声援は禁止として拍手での声援をお願い致します。
 - (2) 自身の試合・役割(敗者審判など)が終了したら観戦や応援をせず、速やかな帰宅をお願いします。
 - (3) 体育館施設以外には、立ち入らないでください。
 - (4) 指定された場所で飲食を行ってください。
 - (5) 会場の状況によっては、途中で換気時間を設けることもあります。